

# weiß

2022. February

対話を通して理解を深める

男子校の良さ

## interview 対話を通して理解を深める

数学科教諭 杉澤 晋太郎

今回は、広報委員の宮子 知之くん(みやこ・ともゆき / 1年2組)が、教科担任であり副担任でも杉澤先生にインタビューをした様子をご紹介します。

——本日はお忙しい中、お時間をいただきありがとうございます。よろしくお願いします。

お願いします。

——まず、先生はどのような経緯で保善高校にいらしたんですか？

私は中学・高校と数学が好きで大学でも数学を学んでいたんだけど、そういう中でやっぱり教員になりたいという想いがあって。大学卒業後に採用試験を受けて行って、縁があった保善高校で働くことになりました。

——大学時代はどのようなことを学んでいたんですか？

数学の分野にも色々あるわけですけど、今、授業でも「集合と論理」をやってるよね？その「集合」の一種で「超集合」っていうのがあるんだよね。もう少し具体的に言うと自分自身を要素とし



て持つことのできるような…ちょっと変わった集合を大学時代は勉強していましたね。

——なるほど。杉澤先生の授業はいつも面白いんですけど。

恐れ入ります (笑)

——いつも何を心がけて授業をしているんですか？

# weiß

自分の授業は数学の話ばかりではなく雑談も多々あるわけですが（笑）まあ、そういうときも自分の言いたいことばかり言うというよりは生徒の興味関心がどこにあるのかとか、対話は心がけているところですね。

——ぼくも数学が苦手なんですけど数学が苦手な生徒にアドバイスをお願いします。

ひと口に数学とは言っても単に問題が解ければいいわけではなくて、問題は解けたけど納得がいかないとか、この公式は何を意味しているのかとか、そういうところでひっかかる人もいれば、何をしたいのかわからないってところからつまづいていることもあるよね。色々なわからなさがあるというか。そもそも数学なんて何に使うの？ってところでモヤモヤしてる人もいるよね。そういうのを解決していく方法は色々あると思うんだけど、一つには友達や先生との対話を通して理解を深めていくことで自分のわからなさがどこにあるのかはっきりさせていくといいかもしれないね。一人で考えることも大切だけど誰かと一緒にやっていくことで自分を発見していくことも大切だと思いますね。



——なるほど。ぼくも心がけてみたいと思います。次に先生の目には保善生はどのようにうつ



ていますか？また保善生にどのようなことを期待しますか？

そうだなー、私が高校生だった時よりしっかりしてると思うよ（笑）挨拶もしっかりして毎日元気に登校してくるし。骨折とか脱臼とかしても登校してくる忍耐力みたいなものがあるって素直にすごいなあと感心してますよ（笑）反面、自分の高校時代と比べると自主性という部分ではまだまだかなと思うところはあります。自分が高校生の時は部活も委員会も「自分たちでやりなさい」という側面が強かったから自発的に動くのが当たり前だったんだけど、今後、保善生もそういうふうにしていきたいなとは思ってますね。

——世の中ではコロナ禍が続いていますが、授業などをしていく上で感じたことはありますか？

そうですねえ。このインタビューが記事になるときにはもう少し収束してくれていけばいいのですが…まあ、やはり一番思うのは授業をする上で対面に勝るものはないんだなということです。技

# weiß

術が進んだので教材や動画の配信などリモートでもできなくはないし、メリットもあるんだけどね。例えばさっき話した数学が苦手って話をとってみてもいったいどの側面で理解が追いついていないのか、どこにモヤモヤを感じているのかとかを細かく見ようと思うと対面でのやり取りに勝るものはないんだよね。なのでコロナがはやく収まって気兼ねなく対面授業ができることを願うばかりです。

——最後に保善高校を受験する生徒にメッセージをお願いします。

私が言うのもなんですが、保善高校は熱心な教員が多いし、何よりも楽しい学校だと思います。ぜひ受験生の皆さんもこういう環境で学んでみませんか？新年度、どこかで出会えることを楽しみにしています。

——今日は貴重なお話、ありがとうございました。



weiß のこと…「知っている」と「白い」という意味を併せ持つドイツ語。まっさらな気持ちで知性を磨くことで「新しい自分」を見つけてほしい、という願いが込められています。

## 《おいでよ！HOZEN》 男子校の良さ

広報委員の鈴木 凱斗くん(すずき・ときと / 1年2組)《写真右》が、同じクラスの福村 嘉人くん(ふくむら・よしと / 1年2組)《写真左》にインタビューを敢行しました。

—今日は忙しい中、インタビューを受けてくれてありがとうございます。ございます。

よろしくをお願いします。

—ではまず、保善高校への入学の経緯を教えてください。

第一志望の学校が別にあって併願という形ですね。第一志望の学校は不合格だったのでとても悔しい気持ちで入学してきました。

—数ある学校の中からなぜ男子校を選んだんですか？

もともと第一志望の学校も男子校だったんですが、正直、男子校には入学するまで不安もありました。入学してみるととても過ごしやすくて選んでよかったなあと思っています。

—保善高校に入学して一年生も後半になりますが学校生活を振り返ってどうでしたか？

コロナもあって思うようにならない部分もありましたけど、文化祭や体育祭もあって結構充実していたと思いますし、楽しかったです。

—これまでの学校生活で一番楽しかったのはなんですか？

体育祭ですね。中学時代には経験したことがないような白熱した競技が新鮮でした。棒引きや綱引きは特に盛り上がりましたね。体育祭を通して男子校の良さみたいなものを改めて感じました。



—福村くんはクラスでも成績優秀ですが、試験勉強の時に心がけていることはありますか？

入学当初はクラスの中でも下の方で徐々に積み重ねて最近では上位に食い込めるようになったんですが、英語と数学は積み重ねが大切なので真っ先にとりかかって、徐々に他の教科にも手をつける感じです。

—得意科目と苦手科目は何ですか？

得意科目は英語ですね。苦手なのは…漢文かなあ。

—次に保善高校の良さみたいなものがあれば教えてください。

まず高校に入って中学校より格段に勉強が難しくなったわけですが、保善の先生は授業がわかりやすいのもそうだし、緩急をつけながら授業をしてくれるので楽しく授業が受けられるのはありがたいなと思います。

—志望している大学や将来の夢があれば教えてください。

早稲田大学の理工学部を目指しています。まだ明確にこの分野を研究したいというのは定まっていないのでこれからじっくり考えたいと思います。

—保善高校を受験する中学生の皆さんにメッセージをお願いします。

受験勉強はとても大変だと思いますが是非、第一志望の高校を目指して頑張ってください。

—今日はありがとうございました。

